

平成 29 年度第 10 回価格審査会の開催について

平成 29 年度第 10 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、当財団の価格情報誌の発行前にその掲載価格の妥当性等について、外部の有識者によって審査を行うものです。

開催日時	平成 30 年 1 月 15 日(月) 13 : 00 ~ 14 : 30		
場 所	一般財団法人建設物価調査会 会議室		
委 員	田中 弘	日本工営株式会社	参与 技術本部 技師長
	柳 泰彦	株式会社日本設計	コスト設計部長
当 会	第一土木調査部	部長：高橋 俊一	
	共通資材調査部	部長：大谷 忠広	次長：川野辺 豊、課長：佐藤 良久
		課長：康広 誠己	
	建築調査部	部長：加納 慎二	
	監査審査室	室長：後藤 裕	
	調査統括部(事務局)	部長：鈴木 昌樹、次長：古井戸 宏、課長：菊池 信博	

平成 29 年度第 9 回価格審査会議事録(案) 確認

平成 29 年度第 10 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明

1. 「建設物価」2月号、「Web 建設物価」2月号の価格動向

- ・ 価格が上昇した資材は、異形棒鋼（全都市）、H形鋼（全都市）、H形鋼（全都市）、鋼板（全都市）、レディーミクストコンクリート（福島、熊谷、松戸、町田、厚木、藤枝、下呂A・B、四日市、彦根、豊能、川西、さぬき）、再生砕石・再生砂（米子）、一般建築用木材（中部、四国の各都市）、コンクリート型枠用合板（北海道、東北を除く各都市）、ストレートアスファルト（沖縄を除く各都市）、水輸送塗覆装鋼管（全国（北海道・九州・沖縄を除く））、普通合板（北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄の各都市）、燃料油【軽油ローリー渡し・ガソリンスタンド渡し】（北海道、東北、関東、中国、沖縄の各都市）、鉄スクラップ【鉄】（全都市）などであることを説明。

2. 注目資材

- ・ 異形棒鋼【東京】
- ・ ストレートアスファルト【東京】

3. 比較資料

- ・ 企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明。

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
審議 1	関東・関西の一部の地域で生コンが上伸しており、市況文をみると以前から値上げをしているような言葉がよく出てくるが、過去に上伸したものを今月反映させたということか。	実際に値上げが浸透したのは今月である。市況文にある過去の値上げは、あくまで値上げが表明された時期のことであり、そこから需要家と交渉を重ねるため、値上げ浸透までには時間を要することが多い。
審議 2	複数の地方都市で砕石類が上伸しているが、主要資材価格動向の主要資材価格推移表では、前月と比べ変動がないのはなぜか。	主要資材価格推移表では、主要都市の再生砕石の価格を時系列で記載しており、地方都市における変動は含まれていない。
審議 3	鉄スクラップが上伸している要因は日本国内の需要が上がっていることもあるが、それ以上に海外（韓国・中国）の影響が大きいのか。	鉄スクラップ需要は、世界的に見ても堅調と言われている。一方、鉄スクラップと競合する中国の鋼材半製品の輸出が減っている状況もある。このため、国際的に鉄スクラップ価格が上昇し、日本の市況を押し上げている面が強い。
審議 4	東京地区の生コン市況で「過去の値上げ未達分の引き上げを進める構え」とあるが、契約済み案件について再値上げを求めるとのことか。	東京地区の生コン協組は、昨年 12 月から 1,000 円の値上げを打ち出しているが、それ以前に打ち出された値上げについても値上げ未達分が存在する。協組は 11 月までの駆け込み注文分についても、過去の値上げ未達分を交渉するということがある。
審議結果	「建設物価」 2 月号、「Web 建設物価」 2 月号の価格動向について問題はなかった。	

以 上